

# 令和7年度 岡本小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

### (1)基本目標

人間尊重の精神に基づき、一人一人の特性や能力を生かし、他者と協働できる、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。

### (2)具体目標

自ら考え主体的に行動し、心豊かでたくましい児童の育成

○かしこく(進んで学ぶ子) ○やさしく(思いやりのある子) ○たくましく(元気でがんばる子)

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

(1)一人一人の児童をかけがえのない存在として大切にす。

(2)児童の安心と安全を最優先する。

(3)児童一人一人の良さや可能性を認め励まし、これからの時代をたくましく生き抜く力を育む。

(4)研修に励むとともに、互いに学び合い、専門性と人間性を高める。

(5)保護者や地域の方々々と進んでコミュニケーションを図り連携を深める。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1)児童一人一人の個性・特性・教育的ニーズの理解に努めるとともに、その特性等応じた指導・支援について全職員による組織的な対応に努める。

(2)魅力にあふれ安心して過ごせる学校づくりに努めるとともに、交通安全教室や地震や不審者等を想定した実践的な避難訓練を通して、自身の安全を守るための判断力や実践力を育成する。

(3)特色ある教育活動と認め励ます教育を推進することを通して、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成に努める。

(4)学年やブロックを活用したOJTを充実するなど教職員の資質・能力の向上に努めるとともに、校内業務の適正化や勤務時間を意識した働き方の推進を図るなど、一層の働き方改革を推進する。

(5)魅力ある学校づくり地域協議会との連携や小中一貫教育・地域学校園の取組の推進に努めるとともに、家庭や地域とのつながりを深めながら教育活動を展開する。

[河内地域学校園教育ビジョン]

すこやか河内 ～小中一貫教育を通して、子供たちの心身のすこやかな成長を目指します～

## 4 教育課程編成の方針

社会の変化やSDGs等に係る現代的な諸課題に対応するため、生涯にわたって成長し続ける基盤となる知・徳・体の調和のとれた力を、児童の発達段階や特性、地域の教育環境、保護者や地域の願いなどを踏まえつつ、教科等横断的な視点で各教科等との関連を図りながら育成する。

<留意点>

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を図り、縦割り班活動や体験活動を通して、認め合い・励まし合い・協力し合える豊かな人間関係を構築するとともに、心のたくましさを涵養する。
- ・岡小タイム(ロング昼休み)での縦割り班活動や縦割り班清掃、異学年交流会などの児童会活動や学級活動の時間を確保し、児童の主体性を育む取組の充実を図る。
- ・GIGAスクール構想の実現に向けて、1人1台端末を効果的に活用しながら、デジタル・シティズンシップ教育を推進し、情報活用能力の定着を図るための学習活動を計画的に実施する。
- ・魅力ある学校づくり地域協議会の意見や、学校マネジメントシステムアンケートの結果を、教育課程の編成に生かす。

## 5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

### (1)学校運営

教職員の資質・能力の向上と働き方改革の推進

・学年やブロックを活用したOJTの充実

・業務の効率化と勤務時間の適正化

・異年齢集団活動や地域資源の活用などの特色ある教育活動の推進

### (2)学習指導

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

○「宇都宮モデル」を活用し、ねらいを明確にして、「書くこと」の指導の充実を図った、学び合う授業の創出

・「情報モラル/デジタル・シティズンシップ教育年間指導計画」に基づいた、動画やデジタルコンテンツの活用と児童が自律的に責任をもち、互いに思いやりをもって利用するICT機器の積極的な活用

・「宮・未来キャリア・パスポート」を活用した将来の夢や目標をもたせるための取組の推進

(3) 児童生徒指導

認め励ます教育とたくましさ涵養する教育の充実

○家庭や地域と連携した適切な言葉遣いと挨拶の励行

・いじめゼロ集会や道徳科の授業等で、児童自らがいじめについて考え、意見を交わし、差別やいじめを許さない態度や思いやり・規範意識の醸成を図る指導・支援の充実

・教育相談や Q-U の結果を活用した不登校の兆しの早期発見・早期対応と、不登校児童への個性・状況・教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

体力の向上と危険予知・回避能力の育成

○各種検定の実施や外遊びの奨励を通じた運動機会の創出

・保健教育に係る関係機関との連携の推進

・学校栄養士と学級担任等の連携の推進

・交通安全教室や地震・不審者などを想定した実践的な避難訓練の実施

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価															
1-(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、進んで学習に取り組んでいる。」</p> <p>→児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 協働体制による研究を進め、授業力の向上を図る。全員で授業を公開し合い、より良い授業を目指して協議を行う。</p> <p>② 様々な方法や観点からの評価により、一人一人の定着度を把握し、個に応じた指導を行う。</p> <p>③ 理由などを含めて発表できるように、発達の段階に応じて指導するとともに、生活、学習の両面で、教師が言葉の意味や使い方を問いかけたり、説明したりする場面を多くし、児童の語彙力の拡充に努める。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="922 887 1487 981"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>95.3</td> <td>100</td> <td>84.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>92.5</td> <td>100</td> <td>88.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は目標値を大きく上回り、昨年度より2.8ポイント上がった。だが、保護者の肯定的回答率は、市の平均肯定的回答率87.2%よりも2.9ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 他者とともに学び合う力や情報を集め選択する力などを高め、主体性を育むため以下に取り組む。</p> <p>① 様々な方法や観点からの評価により、一人一人の定着度を把握し、個に応じた指導を行う。</p> <p>② 理由などを含めて発表できるように、発達の段階に応じて指導するとともに、生活、学習の両面で、教師が言葉の意味や使い方を問いかけたり、説明したりする場面を多くし、児童の語彙力の拡充に努める。</p> <p>③ 協働体制による研究を進め、授業力の向上を図る。また、学校だより等で情報を発信する。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	95.3	100	84.3		R 6	92.5	100	88.0	
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民															
R 7	95.3	100	84.3																
R 6	92.5	100	88.0																
1-(2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」</p> <p>→児童肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 考え議論する道徳科の授業を要として道徳教育を行い、学年学級を越えて人との関わりを深め、相手を思いやり、相手の立場を考え生活できるよう指導の充実に努める。</p> <p>② 学校図書館を核とした読書活動の推進により、豊かな心の育成に努める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="922 1527 1487 1621"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>93.5</td> <td>100</td> <td>96.1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>93.2</td> <td>100</td> <td>95.3</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 児童の思いやりの心を育み、実践を促すため以下に取り組む。</p> <p>① 考え議論する道徳科の授業を要として道徳教育を行い、学年学級を越えて人との関わりを深め、相手を思いやり、相手の立場を考え生活できるよう指導の充実に努める。</p> <p>② 学校図書館を核とした読書活動の推進により、豊かな心の育成に努める。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	93.5	100	96.1	100	R 6	93.2	100	95.3	100
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民															
R 7	93.5	100	96.1	100															
R 6	93.2	100	95.3	100															

	<p>A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p><b>【数値指標】</b> 全体アンケート 「目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」</p> <p>→児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校行事や日々の教育活動において、目標を達成する学習過程を重視した指導に努めるとともに、ICT機器を活用して児童のよさや努力などを認め励ます教育を推進する。（「児童会活動」「きらきらさん」「宮っ子心の教育表彰」等）</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>93.2</td> <td>96.2</td> <td>81.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>91.5</td> <td>95.8</td> <td>81.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は、目標値を大きく上回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b> 夢や目標をもち粘り強く努力できる児童の姿を目指し以下に取り組む。 ① 学校行事や日々の教育活動において、目標を達成する学習過程を重視した指導に努めるとともに、ICT機器を活用して児童のよさや努力などを認め励ます教育を推進する。（「児童会活動」「きらきらさん」「宮っ子心の教育表彰」等）</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	93.2	96.2	81.0		R 6	91.5	95.8	81.4	
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	93.2	96.2	81.0															
R 6	91.5	95.8	81.4															
<p>1-(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p><b>【数値指標】</b> 全体アンケート 「健康や安全に気を付けて生活している。」</p> <p>→児童肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 業間や昼休みは外に出て遊ぶことを推奨するとともに、各学年の実態に応じた目標を設定するなど、進んで運動する機会の充実と運動への動機付けを図る。また、元気っ子健康体力チェックやミニマムの結果を分析し、体育の授業の中に児童の実態に合った運動を位置付ける。</p> <p>② 健康の保持増進が図られるよう、毎日、衛生指導や給食指導に取り組むとともに、学年だよりや保健だよりや食育だより等により啓発し、家庭との連携を図る。</p> <p>③ 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施して、体験活動を通じた安全教育を推進する。</p> <p>④ 児童の健康安全についての保持・増進を目指し、工夫改善を図る。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>96.1</td> <td>96.2</td> <td>88.5</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>94.9</td> <td>91.7</td> <td>88.5</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は、目標値を上回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b> 児童が健康や安全に気を付けて生活できるよう以下に取り組む。 ① 業間や昼休みは外に出て遊ぶことを推奨するとともに、各学年の実態に応じた目標を設定するなど、進んで運動する機会の充実と運動への動機付けを図る。また、元気っ子健康体力チェックやミニマムの結果を分析し、体育の授業の中に児童の実態に合った運動を位置付ける。 ② 健康の保持増進が図られるよう、毎日、衛生指導や給食指導に取り組むとともに、学年だよりや保健だよりや食育だより等により啓発し、家庭との連携を図る。 ③ 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施して、体験活動を通じた安全教育を推進する。 ④ 児童の健康安全についての保持・増進を目指し、工夫改善を図る。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	96.1	96.2	88.5	100	R 6	94.9	91.7	88.5	100
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	96.1	96.2	88.5	100														
R 6	94.9	91.7	88.5	100														
<p>1-(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p><b>【数値指標】</b> 全体アンケート 「自分の良さや考えを生かしたり、周りとの協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」</p> <p>→児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校行事や学級活動などの特別活動において、児童が主体となり自己決定する場を積極的に取り入れる。</p> <p>② 学習活動等において目標を立て、活動を振り返ることなどを通して、自分の成長を実感させる。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>93.2</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>90.4</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は目標値を大きく上回り、昨年度より2.8ポイント上がった。</p> <p><b>【次年度の方針】</b> 自分の良さや考えを活かして協働し、学校生活をよりよくしようとする児童の育成を目指し、以下に取り組む。 ① 学校行事や学級活動などの特別活動において、児童が話し合い活動を通して、主体的に活動できる場を積極的に取り入れる。 ② 学習活動等において目標を立て、活動を振り返ることなどを通して、自分の成長を実感させる。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	93.2	100			R 6	90.4	100		
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	93.2	100																
R 6	90.4	100																

2-(1)  
グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進

A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。

【数値指標】

全体アンケート

「外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」

→児童肯定的回答  
80%以上

- ① 教職員が英語を使うとともにALTを活用し、英語のやり取りを中心とした授業を展開する。
- ② ALTとの交流活動など、学校生活の中で英語を使う機会を設ける。

【達成状況】

肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民
R 7	90.3	88.5		
R 6	88.7	100		

児童の肯定的回答率は、目標値を大きく上回った。だが、教職員の肯定的回答率は昨年度より11.5ポイント下がり、さらに、教職員の市平均肯定的回答率95.2%よりも6.7ポイント下回った。

B

【次年度の方針】

児童がより英語に親しみ、英語を使ったコミュニケーションが活性化するように以下に取り組む。

- ① 教職員が英語を使うとともにALTを活用し、英語のやり取りを中心とした授業を展開する。
- ② ALTとの交流活動など、学校生活の中で英語を使う機会を設ける。

A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。

【数値指標】

全体アンケート

「宇都宮の良さを知っている。」

→児童肯定的回答  
80%以上

- ① 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、岡本地区や宇都宮市を教材にした学習を展開する。また、市作成教材を活用し、さらに宇都宮市のよさを実感できるよう校外学習や体験学習を積極的に取り入れるなどして授業を展開する。
- ② 地域の情報を収集し、学校だよりやHPに掲載することにより、児童や保護者が地域の良さを実感できるよう努めるとともに、児童や保護者の地域活動への参加を促進する。

【達成状況】

肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民
R 7	90.0	92.3	77.6	
R 6	86.7	79.2	72.8	

児童の肯定的回答率は、目標値を大きく上回り、昨年度より3.3ポイント上がった。

B

【次年度の方針】

児童の宇都宮市への関心をさらに高め、宇都宮市のよさを実感することができるように以下に取り組む。

- ① 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、岡本地区や宇都宮市を教材にした学習を展開する。また、市作成教材を活用し、さらに宇都宮市のよさを実感できるよう校外学習や体験学習を積極的に取り入れるなどして授業を展開する。
- ② 地域の情報を収集し、学校だよりやHPに掲載することにより、児童や保護者が地域の良さを実感できるよう努めるとともに、児童や保護者の地域活動への参加を促進する。

2-(2)  
情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進

A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。

【数値指標】

全体アンケート

「パソコンや図書等を学習に活用している。」

→児童肯定的回答  
85%以上

- ① 情報教育担当や司書が学級担任と連携し、コンピュータ及び1人1台端末、学校図書館図書、市立図書館の巡回図書等の活用を図る。
- ② 読み聞かせの実施や図書だより等による啓発などにより学校図書館を核とした読書活動を推進する。
- ③ ICTや図書資料を意図的に取り入れ、分かりやすい授業の展開を心がける。さらに1人1台端末の導入を機に、その特性を各教科等の学習に生かす。

【達成状況】

肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民
R 7	93.9	100	82.7	
R 6	93.2	100	86.4	

児童の肯定的回答率は目標値を上回ったが、保護者の肯定的回答率は昨年度より3.7ポイント下がった。

A

【次年度の方針】

ICT機器を含む情報活用において、児童のデジタルシティズンシップを高め、積極的に正しく活用できるように、以下に取り組む。

- ① 情報教育担当や司書が学級担任と連携し、コンピュータ及び1人1台端末、学校図書館図書、市立図書館の巡回図書等の活用を図る。
- ② 読み聞かせの実施や図書だより等による啓発などにより学校図書館を核とした読書活動を推進する。
- ③ ICTや図書資料を意図的に取り入れ、分かりやすい授業の展開を心がける。デジタル機器や図書等を学習に活用している様子を学校だより等で発信する。

<p>2-(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育てる教育の推進</p>	<p>A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「『持続可能な社会』について、関心をもっている。」</p> <p>→児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 各教科指導、総合的な学習の時間、学校農園活動や花いっぱい活動など、自然環境の大切さを実感できる教育活動に取り組む。</p> <p>② 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施するなど体験活動を通じた安全教育を推進する。また様々な災害における避難方法等詳細について保護者への周知・連携を図る。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>95.0</td> <td>80.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>91.8</td> <td>79.2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は目標値を大きく上回り、昨年度より3.2ポイント上がった。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>児童が「持続可能な社会」について、関心を持ち、持続可能な社会の担い手として成長できるよう以下に取り組む。</p> <p>① 各教科指導、総合的な学習の時間、学校農園活動や花いっぱい週間など、自然環境の大切さを実感できる教育活動に取り組む。</p> <p>② 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施するなど体験活動を通じた安全教育を推進する。また様々な災害における避難方法等詳細について児童・教職員への周知・連携を図る。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	95.0	80.8			R 6	91.8	79.2		
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	95.0	80.8																
R 6	91.8	79.2																
<p>3-(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」</p> <p>→教職員肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 校内支援委員会及び児童に関する情報交換会等により、特別な支援を必要とする児童や保護者についての情報共有を図る。</p> <p>② 校内支援委員会及びケース会議により、学級やかがやきルームでの指導方針・具体策を組織的に検討し、一人一人のニーズに応じた指導の充実に努める。また、必要に応じて外部機関との連携を図る。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答率は目標値を大きく上回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>特別な支援を必要とする児童の実態に応じて適切な支援を行うため以下に取り組む。</p> <p>① 校内支援委員会及び児童に関する情報交換会等により、特別な支援を必要とする児童や保護者についての情報共有を図る。</p> <p>② 校内支援委員会及びケース会議により、学級やかがやきルームでの指導方針・具体策を組織的に検討し、一人一人のニーズに応じた指導の充実に努める。また、必要に応じて外部機関との連携を図る。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7		100			R 6		100		
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7		100																
R 6		100																
<p>3-(2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」</p> <p>→保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>① いじめに関するアンケートや教育相談、いじめゼロ集会を実施し、普段から安心して相談できる教職員と児童との関係づくりに努め、未然防止、早期発見・対応を図る。</p> <p>② 道徳科の授業や人権週間の設定、いじめゼロ強調月間による啓発などにより、児童にいじめをしない・許さない心情を育てる。</p> <p>③ 児童の情報交換会を通して、情報を共有し、いじめを生まない全校体制を構築するとともに、教職員自らが人権感覚を高める。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>98.6</td> <td>100</td> <td>86.8</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>98.3</td> <td>100</td> <td>87.5</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者の肯定的回答率は目標値を上回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>いじめは絶対に許さない毅然とした姿勢を示し、いじめのない学校を作るため、いじめ防止基本方針に基づき以下に取り組む。</p> <p>① いじめに関するアンケートや教育相談、いじめゼロ集会を実施し、普段から安心して相談できる教職員と児童との関係づくりに努め、未然防止、早期発見・対応を図る。</p> <p>② 道徳科の授業や人権週間の設定、いじめゼロ強調月間による啓発などにより、児童にいじめをしない・許さない心情を育てる。</p> <p>③ 児童の情報交換会を通して、情報を共有し、いじめを生まない全校体制を構築するとともに、教職員自らが人権感覚を高める。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	98.6	100	86.8	100	R 6	98.3	100	87.5	100
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	98.6	100	86.8	100														
R 6	98.3	100	87.5	100														

	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切に、児童(生徒)がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」</p> <p>→児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学習指導や特別活動をとおして自己肯定感を高める取り組みを継続して行い、児童のよさをいかす教育環境を整え、不登校を未然に防止する。</p> <p>② 「きらきらさん表彰」や「宮っ子心の教育表彰」等を活用し、児童のよさや努力などを認め励ます教育を推進する。</p> <p>③ SCM及び不登校対策担当を核として組織的に支援策を検討し、保護者との連携や別室登校支援などに取り組む。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>98.2</td> <td>100</td> <td>95.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>97.3</td> <td>100</td> <td>93.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は、目標値を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>児童一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合い、「明日も行きたい」と思える学級経営を行うため、学校全体として以下に取り組む。</p> <p>① 学習指導や特別活動をとおして自己肯定感を高める取り組みを継続して行い、児童のよさをいかす教育環境を整え、不登校を未然に防止する。</p> <p>② 「きらきらさん表彰」や「宮っ子心の教育表彰」等を活用し、児童のよさや努力などを認め励ます教育を推進する。</p> <p>③ SCM及び不登校対策担当を核として組織的に支援策を検討し、保護者との連携や別室登校支援などに取り組む。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	98.2	100	95.1		R 6	97.3	100	93.6	
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	98.2	100	95.1															
R 6	97.3	100	93.6															
<p>3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p> <p>3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」</p> <p>→児童肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 体験的な活動を取り入れたたり、ICT 機器等を有効に活用したりして、児童の学習意欲を高める授業の工夫をする。</p> <p>② 教育相談(あのねカード)や友達にかかわるアンケート、Q-Uを活用し、日頃から児童が相談しやすい雰囲気を作ったり、日々の様子から教師が適切な指導・支援・助言をしたりする。</p> <p>③ 教育相談週間は2週間とし、担任と児童の相談時間を十分に確保する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>98.6</td> <td>100</td> <td>96.4</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>97.6</td> <td>100</td> <td>93.7</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>明るくいいきとした活気のある雰囲気醸成するため以下に取り組む。</p> <p>① 体験的な活動を取り入れたたり、ICT 機器等を有効に活用したりして、児童の学習意欲を高める授業の工夫をする。</p> <p>② 教育相談(あのねカード)や友達にかかわるアンケート、Q-Uを活用し、日頃から児童が相談しやすい雰囲気を作ったり、日々の様子から教師が適切な指導・支援・助言をしたりする。</p> <p>③ 教育相談週間は2週間とし、担任と児童の相談時間を十分に確保する。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	98.6	100	96.4	100	R 6	97.6	100	93.7	100
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	98.6	100	96.4	100														
R 6	97.6	100	93.7	100														
<p>4-(1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「教職員は分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」</p> <p>→教職員肯定的回答 90%以上</p> <p>「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」</p> <p>→児童肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学力の向上等を目指し、教材研究を十分に行い、明確な課題提示と、振り返りや発問の工夫、学び合い活動の充実等により、分かる授業の展開に努める。</p> <p>② 児童の実態に応じたきめ細かな指導をするために、単元や学習内容に応じて様々な学習方法及び形態の工夫をする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>98.2</td> <td>100</td> <td>93.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>98.0</td> <td>100</td> <td>89.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童、教職員ともに肯定的回答率は目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>より一層の学力向上を目指し、以下に取り組む。</p> <p>① 学力の向上等を目指し、教材研究を十分に行い、明確な課題提示と、振り返りや発問の工夫、学び合い活動の充実等により、分かる授業の展開に努める。</p> <p>② 児童の実態に応じたきめ細かな指導をするために、単元や学習内容に応じて様々な学習方法及び形態の工夫をする。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	98.2	100	93.8		R 6	98.0	100	89.0	
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	98.2	100	93.8															
R 6	98.0	100	89.0															
<p>4-(2) チーム力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」</p> <p>→教職員肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 様々な学校行事のみならず、日頃の教育活動全般において、教職員と関係する学校スタッフが事前の打合せも含めて情報交換を密にし、協働の意識で業務にあたる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答率は目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>職員がより一層協力して業務に取り組めるよう以下に取り組む。</p> <p>① 様々な学校行事のみならず、日頃の教育活動全般において、教職員と関係する学校スタッフが事前の打合せも含めて情報交換を密にし、協働の意識で業務にあたる。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7		100			R 6		100		
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7		100																
R 6		100																

<p>4-(3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】出退勤記録 12月までの全教職員残業時間の平均</p> <p>→月35時間未満</p>	<p>① 各種行事や計画の見直ししたり精選したりして、課題と成果を明らかにし、業務改善を促進させるようカリキュラムマネジメントを行う。</p> <p>② ミライムやポータルなどをより活用したペーパーレス化や効率化の推進について共通理解を図り、校務全般の一層の効率化に努める。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td></td> <td>96.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td></td> <td>95.8</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>12月までの全教職員残業時間平均は、月22時間であり、目標を達成した。また、昨年度と比較して4時間程度減少する結果となった。</p> <p><b>【次年度の方針】</b> 業務の効率化を一層推進し、本校の教育の質の更なる向上を図るため以下に取り組む。</p> <p>① 各種行事や計画の見直ししたり精選したりして、課題と成果を明らかにし、業務改善を促進させるようカリキュラムマネジメントを行う。</p> <p>② ミライムやポータルなどをより活用したペーパーレス化や効率化の推進について共通理解を図り、校務全般の一層の効率化に努める。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7		96.2			R 6		95.8		
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7		96.2																
R 6		95.8																
<p>5-(1) 全学的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」</p> <p>→保護者肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域学校園研修においては各部会・教科部会を別々に実施し、教育ビジョンの達成を目指し計画的に推進する。</p> <p>② 「小中一貫教育だより」や「学校だより」HP等により、宮チャレ、かわちあいさつの日、中学校の乗り入れについて情報発信し、保護者や地域への周知を図る。</p> <p>③ 小中一貫コーナーを会議室（廊下）に設置し、地域学校園の活動の様子を周知する。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>95.2</td> <td>96.2</td> <td>80.0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>85.4</td> <td>87.5</td> <td>79.7</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者の肯定的回答率は目標値に満たなかった。かつ、市の平均肯定的回答率87.1%よりも、7.1ポイント下回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b> 地域学校園全体の研究テーマの実現に向け、学校園内で連携を図りながら以下に取り組む。</p> <p>① 地域学校園研修においては各部会・教科部会を別々に実施し、教育ビジョンの達成を目指し計画的に推進する。</p> <p>② 「小中一貫教育だより」や「学校だより」「学年だより」HP等により、宮チャレ、かわちあいさつの日、中学校の乗り入れについて情報発信し、保護者や地域への周知を図る。</p> <p>③ 小中一貫コーナーを会議室（廊下）に設置し、地域学校園の活動の様子を周知する。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	95.2	96.2	80.0	100	R 6	85.4	87.5	79.7	100
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	95.2	96.2	80.0	100														
R 6	85.4	87.5	79.7	100														
<p>5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p> <p>5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」</p> <p>→地域肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 教育活動や学校運営に係る取組の成果と課題について、校内評価委員会で振り返り、よりよい家庭・地域・企業等との連携・協力について、その在り方を考える。</p> <p>② 地域協議会や学校支援ボランティアとの連携を図り、その内容について各種便りやHPを活用して紹介し、より一層地域や保護者に連携・協力についての啓発活動を広げていく。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>96.4</td> <td>100</td> <td>95.2</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>93.9</td> <td>100</td> <td>93.6</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域住民の肯定的回答率は目標値を上回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b> 家庭・地域・企業とより良い関係を築き、連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図るため、以下に取り組む。</p> <p>① 教育活動や学校運営に係る取組の成果と課題について、校内評価委員会で振り返り、よりよい家庭・地域・企業等との連携・協力について、その在り方を考える。</p> <p>② 地域協議会や学校支援ボランティアとの連携を図り、その内容について各種便りやHPを活用して紹介し、より一層地域や保護者に連携・協力についての啓発活動を広げていく。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	96.4	100	95.2	100	R 6	93.9	100	93.6	100
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	96.4	100	95.2	100														
R 6	93.9	100	93.6	100														

<p>6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」</p> <p>→保護者肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 保護者や学校施設利用者へ災害時避難方法や児童送迎時の自家用車乗り入れ方法の周知、AED講習の案内など、危機対応に関する情報を適宜提供する。</p> <p>② 全教職員による毎月の安全点検を行い、児童や利用者が安全に活動できる教育環境づくりに取り組む。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td></td> <td>100</td> <td>92.4</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td></td> <td>100</td> <td>91.3</td> <td>00.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者の肯定的回答率は、目標値を上回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>安心安全に配慮した環境づくりのため、以下に取り組む。</p> <p>① 保護者や学校施設利用者へ災害時避難方法や児童送迎時の自家用車乗り入れ方法の周知、AED講習の案内など、危機対応に関する情報を適宜提供する。</p> <p>② 全教職員による毎月の安全点検を行い、児童や利用者が安全に活動できる教育環境づくりに取り組む。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7		100	92.4	100	R 6		100	91.3	00.0
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7		100	92.4	100														
R 6		100	91.3	00.0														
<p>6-(2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「授業（授業準備も含む）や業務に、デジタルを積極的に活用している。」</p> <p>→教職員肯定的回答 90%以上</p>	<p>① スクールタクト等の教材を校内で共有し、業務の効率化を図る。</p> <p>② 児童の発達段階に応じて日常的にICTを活用し、評価に生かす。</p> <p>③ ICT支援員と連携し、児童や教員が1人1台端末をさらに効果的に活用できるよう取り組む。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td></td> <td>95.8</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答率は、目標値を大きく上回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>授業や校務のDXをより一層推進するため、以下に取り組む。</p> <p>① スクールタクト等の教材を校内で共有し、業務の効率化を図る。</p> <p>② 児童の発達段階に応じて日常的にICTを活用し、評価に生かす。</p> <p>③ ICT支援員と連携し、児童や教員が1人1台端末をさらに効果的に活用できるよう取り組む。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7		100			R 6		95.8		
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7		100																
R 6		95.8																
<p>小・中学校、地域学校共通</p>	<p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「時と場に応じたあいさつをしている。」</p> <p>→教職員肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 全教育活動を通じて、明るくさわやかなあいさつができるように、全職員で指導を行う。</p> <p>① 小中一貫教育、学校交流連携促進部会との関連を図りながら、小中学校、地域ぐるみのあいさつ運動を展開する。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>96.1</td> <td>100</td> <td>83.7</td> <td>94.7</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>92.8</td> <td>91.7</td> <td>81.7</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答率は、目標値を大きく上回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>児童があいさつの意義を理解し、進んで実践できるようになるために以下に取り組む。</p> <p>① 教育活動を通じて、明るくさわやかなあいさつができるように、全職員で指導を行う。</p> <p>② 小中一貫教育、学校交流連携促進部会との関連を図りながら、小中学校、地域ぐるみのあいさつ運動を展開する。</p> <p>③ 代表委員会を中心に児童会活動において、あいさつの啓発を行う。（アンケート、ポスターなど）</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	96.1	100	83.7	94.7	R 6	92.8	91.7	81.7	95.0
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	96.1	100	83.7	94.7														
R 6	92.8	91.7	81.7	95.0														

	<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「きまりやマナーを守って、生活をしている。」</p> <p>→児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>① ルールを守る、いじめをしないなど、人として大切なことを全ての職員が、すべての活動の中でしっかりと指導する。</p> <p>② 小中一貫教育、学校生活・適応支援部会との連携を図りながら、小中で協力して指導していく。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1" data-bbox="922 107 1485 203"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>95.3</td> <td>96.2</td> <td>97.4</td> <td>94.7</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>93.2</td> <td>100</td> <td>94.7</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は目標値を大きく上回ったが、地域住民の肯定的回答率は昨年度より5.3ポイント下がった。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>児童の規範意識、マナーのより一層の向上を図るため以下に取り組む。</p> <p>① 全ての職員が岡本小学校の生活のきまりを基に、きまりやマナーを守るなど規範意識を高める指導を徹底する。</p> <p>② 毎月の生活目標の指導を徹底し、月末に振り返りを行い、きまりやマナーを守るよさを実感できるようにする。</p> <p>③ 小中一貫教育、学校生活・適応支援部会との連携を図りながら、小中で協力して指導していく。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	95.3	96.2	97.4	94.7	R 6	93.2	100	94.7	100
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	95.3	96.2	97.4	94.7														
R 6	93.2	100	94.7	100														
	<p>B3 児童は家庭学習にしっかりと取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「家庭学習にしっかりと取り組んでいる。」</p> <p>⇒児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 教科の宿題以外に、自主学習ノートを主体的に利用するなど、一日にすこやか学校園で設定された時間は家庭学習に取り組むよう指導する。</p> <p>② 小中一貫教育、学力向上部会と連携を図りながら、小中で協力して指導していく。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1" data-bbox="922 734 1485 831"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>89.2</td> <td>96.2</td> <td>70.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>91.5</td> <td>91.7</td> <td>73.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は目標値を上回ったが、昨年度より2.3ポイント下がった。同様に保護者の肯定的回答率も、昨年度より2.4ポイント下がった。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>児童が主体的に家庭学習に取り組めるよう、以下に取り組む。</p> <p>① 教科の宿題以外に、自主学習ノートを主体的に利用するなど、各学年で設定された時間は家庭学習に取り組むよう指導する。</p> <p>② デジタルドリルを用いた家庭学習の実施状況を家庭でも分かるよう学校だより等で発信する。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	89.2	96.2	70.7		R 6	91.5	91.7	73.1	
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	89.2	96.2	70.7															
R 6	91.5	91.7	73.1															
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B4 すべての学習活動を通して、児童の積極性を育てている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学習や生活に進んで取り組んでいる。」(1～4年) 「学習や生活に責任をもって進んで取り組んでいる。」(5・6年)</p> <p>→児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学校全体の活動において、各学年の発達段階に応じて、児童の自己有用感が高められるような活動の充実と改善を図る。</p> <p>② 児童会活動等で全児童が主体的に活動するために、高学年を中心に代表委員を組織し、活動できるよう指導する。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1" data-bbox="922 1229 1485 1326"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td>95.7</td> <td>100</td> <td>94.7</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>94.2</td> <td>100</td> <td>90.8</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答率は、目標値を大きく上回った。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>児童会活動等の学習活動全般を通して、児童の主体性を育み、自己有用感を高めていくため、以下に取り組む。</p> <p>① 学校全体の活動において、各学年の発達段階に応じて、児童の自己有用感が高められるような活動の充実と改善を図る。</p> <p>② 児童会活動等で全児童が主体的に活動するために、高学年を中心に代表委員を組織し、活動できるよう指導する。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7	95.7	100	94.7	100	R 6	94.2	100	90.8	100
肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民														
R 7	95.7	100	94.7	100														
R 6	94.2	100	90.8	100														

<p>B5 児童が主体的に活動できる異学年交流活動の実施などにより、児童には自己有用感や協調性、思いやりの心が育まれている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童には、自己有用感や協調性、思いやりの心が育まれている。」</p> <p>→教職員肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 児童が主体的に活動できる異学年交流活動などの学校行事や体験活動等を通し、集団の一員であることの自覚や自尊感情を高めるとともに、コミュニケーション力や思いやりの心を育む。</p> <p>② 認め励ます指導により、自信や自己有用感を育む。</p> <p>③ 「岡小タイム」を位置づけ、学級の時間や縦割り班活動を実施する。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肯定的回答</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 7</td> <td></td> <td>96.2</td> <td>93.2</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td></td> <td>100</td> <td>93.8</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答率は、目標値を大きく上回った。</p>	肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民	R 7		96.2	93.2	100	R 6		100	93.8	100
		肯定的回答	児童	教職員	保護者	地域住民											
R 7		96.2	93.2	100													
R 6		100	93.8	100													
		<p><b>B 【次年度の方針】</b></p> <p>児童が主体的に異学年交流活動を行うことで、自己有用感や協調性、思いやりの心がもてるようになるため、以下に取り組む。</p> <p>① 児童が主体的に活動できる異学年交流活動などの学校行事や体験活動等を通し、集団の一員であることの自覚や自尊感情を高めるとともに、自己有用感や協調性・思いやりの心を育む。</p>															

## 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

25ある全質問項目中の24項目において、数値指標の目標値を上回った。

保護者や地域の温かな御支援のもと、児童一人一人のよさを認め励まし、個に応じた支援を行いながら学習指導や児童指導に取り組んできた結果ととらえている。今年度の学校経営方針のもと、教職員は一丸となって、児童の主体性を育む教育活動を展開してきた。以下に、今後の方向性等について示す。

### 1 学校運営の状況

・「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気であるか。(A13)」に対する児童の肯定的回答率は98.6%で目標値を大きく超えている。さらに保護者の肯定的回答率は96.4%で、昨年度より2.8ポイント上がり、児童・保護者・地域住民のいずれの肯定的回答率も市の平均を上回った。今後も体験的活動やICT機器等を有効に取り入れた児童の学習意欲を高める授業の工夫や、児童一人一人に丁寧に寄り添う教育相談の実施など、明るくいいきとした活気ある雰囲気づくりに努めていく。

○「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っているか。(A17)」に対する保護者の肯定的回答は80%で、昨年度同様に目標値を下回り、さらに市の平均よりも7.1ポイント下回る結果となった。今年度は新しく、「小中一貫コーナー」と題した地域学校園の活動の様子を伝える掲示スペースを会議室廊下に設置したり、「小中一貫教育だより」をさくら連絡網で配信したりして広報活動に努めたが、さらに保護者や地域への周知を強化していく。一方で、児童の肯定的回答は昨年度より9.8ポイントと大きく上回っており、宮チャレや中学生と合同で行う朝のあいさつ運動など、小中連携による様々な活動が定着してきたからといえる。引き続き取組に関する丁寧な説明や情報発信に努めていく。

・「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っているか。(A18)」に対する地域住民の肯定的回答率は、昨年引き続き100%で目標値を上回った。児童や保護者の肯定的回答率も、市の平均より4~5ポイント上回っている。どの学年も企業から講師を招いた出前授業を積極的に実施したり、地域の生き物観察やアスパラ農家見学など、地域の教育力を生かして児童の学びを学校外へ広げたりした結果といえる。また、地域協議会の学校支援ボランティア(おたすけ隊)による朝の読み聞かせやプール授業の安全見守り、家庭科のミシン学習補助、校外学習の児童引率など、ボランティアによる支援活動等が効果的に実施され、児童・保護者・地域の実感が高まったものと考えられる。

## 2 教育活動の状況

### (1) 学習

・「児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。(A1)」に対する児童の肯定的回答の割合は95.3%で、目標値を超えた。しかし、保護者の肯定的回答率は84.3%で、昨年度より3.7ポイント下がり、さらに市の平均よりも2.5ポイント下回った。児童に関しては、一人一台端末を有効に使

いながらも、他者とともに学び合う力や情報を集め選択する力などを高めてきた結果といえる。今後も児童が意欲的に取り組める授業づくりを目指し、教職員が協働体制で研究を進める姿を学校だよりや学校ホームページ等で情報発信していく。

・「児童は、英語を使ってコミュニケーションをしているか。(A6)」に対する児童の肯定的回答率の割合は90.3%で、昨年度を1.6ポイント上回り、目標値も上回った。だが、教職員の肯定的回答率は88.5%で昨年度より11.5ポイントも大幅に下がり、さらに市の平均よりも6.7ポイント下回った。英語に親しみ、英語を使ったコミュニケーションが活性化するよう、外国語の学習における言語活動の充実を図り、振り返りカード等を活用して学びを実感できるようにしていく。また、ALTと放送委員児童による給食時の英語を使った校内放送など、児童がより英語に親しみ、学校生活の中で英語を使う機会を設けていく。

・「児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用しているか。(A8)」に対する肯定的回答の割合は、児童93.9%で目標値は超えたものの、保護者82.7%で昨年度より3.7ポイント下回った。ICT機器や図書資料を意図的に取り入れた分かりやすい授業の展開に心がけ、さらにデジタル機器や図書等を学習に活用している様子を各種たよりや学校ホームページ等で情報発信していくことで、保護者の理解を得られるようにしていく。

・「児童は、家庭学習にしっかりと取り組んでいるか。(B3)」に対する肯定的回答の割合は、児童89.2%で目標値を上回ったが、昨年度より2.3ポイント下がった。児童が主体的に家庭学習に取り組めるよう、各学年で決められた学習時間は取り組めるよう指導するとともに、デジタルドリルを用いた家庭学習の実施状況を家庭でも分かるように学校だより等で発信する。

## (2) 生活

・「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導しているか。(A11)」に対する保護者の肯定的回答は86.8%と目標値を上回った。今後もいじめは絶対に許さない毅然とした姿勢を示し、教職員全員が同一步調で指導にあたるよう、組織力を高めていく。また、いじめゼロ強調月間による啓発活動やいじめゼロ集会の実施など、情報発信等を行い、いじめを許さない学校の姿勢を明確に示していく。

○「児童は、時と場に応じたあいさつをしているか。(B1)」に対する児童及び保護者の肯定的回答の割合は96.1%、83.7%で昨年度より多少上回った。朝の登校時に、昇降口で子どもたちを迎える校長先生に、大きな声で元気に挨拶をする児童の姿が多く見られた。今後も明るくさわやかなあいさつができるように、教育活動を通じて全職員で指導するとともに、代表委員会を中心に児童会活動において挨拶の啓発を行っていく。

・「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしているか。(B2)」に対する児童の肯定的回答の割合は95.3%で目標値を大きく上回ったが、地域住民の肯定的回答率は昨年度より5.3ポイント下がった。地域住民へのアンケートでは「登下校での交通ルールなど、きまりやマナーを守って生活しているか。」という質問項目であった。登下校時の交通安全や地域の公共の場での過ごし方など、地域で過ごす子どもたちの規範意識を高め、学校・家庭・地域が三位一体となって見守ることのできる体制づくりを行っていく。

## (3) 健康・体力

・「児童は、健康や安全に気をつけて生活しているか。(A4)」に対する肯定的回答の割合は、児童96.1%で目標値を上回った。体育の学習における運動量の確保や外遊びの推奨、各学年の実態に応じた目標設定で、進んで運動する機会の充実を図っていく。また避難訓練等を計画的に実施して、体験活動を通じた安全活動を推進していく。

## 3 本校の特色・課題等

・本校の特色である特別活動の児童会活動等について、「学校は、児童会活動等の学習活動全般を通して、児童の積極性を育てている。」(B4)」に対する児童の肯定的回答の割合は95.7%で、目標値を大きく上回った。今年度は、児童会活動において全児童が主体的に活動するため、高学年を中心とした代表委員を組織し、年度始めに「どのような学校にしたいか」という願いを共有し、委員会や学級で何ができるかを考え、行動にうつしてきた。運動

会のスローガン決めも代表委員が中心となって進めるなど、学校行事への参画意識とよりよい学校にしようとする自主性を育ててきた。集会委員会による「岡本ミニまつり」や運動委員会の「投力アップをねらった的あて大会」、全校児童で感謝の気持ちを表わそうとパワーアップした「感謝の会」など、今年度は児童が主体となって企画・準備した集会活動が数多く行われた。児童が「学校づくりの主役」となり自治的活動が活性化してきた結果である。来年度もさらなる充実を図るとともに、児童の活動の様子を保護者や地域住民に、各種たよりや学校ホームページ等で発信していく。

・小中一貫教育の取組やいじめ防止に関する取組の様子、図書やICTの活用状況など、児童の日頃の学習や生活の様子について、保護者・地域への丁寧な説明や積極的な情報発信に一層努めていく必要がある。

## 7 学校関係者評価

### 学校の教育活動全体について

- ・学校では、様々な教育活動が行われており、子どもたちは日々楽しく、主体的に取り組んでいる様子が分かった。交通指導員や学校支援ボランティアなどを招待してくれた感謝の会では、児童が中心となって、会の計画やプレゼント作り、当日の進行まで行っており、児童の自治的活動の様子を見ることができ、とても素晴らしかった。
- ・（地域協議会委員による）授業参観では、1～6年生の児童が、一人一台端末を授業で活発に使用していたことにとっても驚いた。教職員が工夫しながら学習活動に取り入れていることを知り、今後も継続してもらいたい。
- ・岡本小の児童は優しい子が多く、これからも相手の気持ちを考えられる思いやりのある児童になってほしい。
- ・学校での挨拶はとてもよくできているようだが、登下校の時にすれ違う大人にはなかなか挨拶ができないようである。これは、知らない人とは話さないという不審者対応への指導の結果でもあるが、地域住民にも元気に挨拶してほしい。
- ・今年度は、学校支援ボランティア（おたすけ隊）の募集を、保護者だけでなく地域住民にも呼びかけたが、今後も地域に協力をお願いしていけるとよいと思う。
- ・運動会などの学校行事や授業参観、学校だより・ホームページからの情報などから、子供たちが様々な行事や日々の学習活動に意欲的に取り組んでいる様子が伝わってくる。これからも積極的に挑戦できる子であってほしい。
- ・縦割り班による清掃活動や学年ごとに花壇やプランターに季節の花を育てる花いっぱい活動など、計画的に実施しており、これからも奉仕活動ができる子になってほしい。

## 8 まとめと次年度へ向けて(学校関係者評価を受けて)

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校の自己評価や児童・保護者・地域の皆様から寄せられた貴重な意見を真摯に受け止め、これまでの取組の成果を生かして更なる効果をあげていくとともに、次年度の方策について検討し、組織としてより団結していきたい。

・高学年児童が企画・運営にあたり全児童が参画する児童会活動や縦割り班での共遊・清掃の実施など、児童の主体性を育む取組として、今後も児童会活動等の特別活動や異学年交流活動を充実させ、これらの活動を通して、認め励ます教育をより一層推進し、児童の積極性や自己有用感、協調性や思いやりの心の育成に努める。

・本校において、授業での ICT 機器の活用頻度は十分に高く、児童にとっても既に不可欠の学習用具となっている。各学年の実態に応じて、授業のみならず日常的にも有効活用を図っていきたい。今後も、教職員は効果的な活用方法を目指して実践を積み、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めながら、児童の学力向上に役立てていく。

・児童の体験学習の充実を図るため、校外学習や企業・団体等の講師を招いた出前授業・オンライン授業など、各教科の学習内容に基づいた計画的な実施に努めていく。子どもたちが地域や社会とのつながりを通して、地域に

愛着をもち、教養を深め人間性を養うことができるよう、地域の人的・物的資源の活用に取り組むとともに、学校ホームページや各種便り等に掲載することで、児童や保護者が地域のよさを実感できるよう努める。

・「いじめの未然防止」や「いじめに対する指導」については、今後も全教職員で取り組む。どんな形であっても、いじめは許されない行為であることはもとより、一人一人の人権を尊重にすることの大切さ等を、日々の学級活動や道徳の授業、いじめゼロ強調月間、人権週間等においても丁寧に指導し、すべての児童が安全に、楽しく学校生活を送ることができる環境づくりに努める。また、スマホ・携帯・SNS等のネットトラブルを未然に防ぐため、高学年向けの教室や親子出前講座の実施にも努める。

○河内地域学校園においては、小中合同あいさつ運動や中学2年生の社会体験学習（宮っ子チャレンジ）、中学校教員による6年生への乗り入れ授業、教員相互の研修等実施など、小中間の交流活動をこれまで同様に行い、それらの取組を学校ホームページや各種便り等で積極的に情報発信することにより、保護者及び地域に対する「小中一貫教育・地域学校園」の取組への理解促進に努める。

・岡本地域協議会を要として、地域協議委員や学校支援ボランティア（おたすけ隊）等の御支援・御協力による教育活動の充実に努め、地域とともにある学校づくりを推進する。